

令和元年最後であり、B5判サイズの大きさの『皮膚病診療』最後の号となった。テーマは「黒い皮膚病」。黒色調をきたす皮膚病変は非常に多く、原因色素もメラニチンに富んでいる。黒い病変が皮膚にあると整容的にとても気になることに加え、メラノーマを代表に悪い疾患を想起する。今号で取り上げた比較的珍しい疾患では銀皮症もあり、仁丹の服用により生じるものが知られているが、留置しない鍼治療で、しかも何年も経過してから生じることもあると知り興味深かった。以前はあまり耳になかった色の原因として、リポフスチンやカルシフィラキシスがあげられている。リポフスチンとは、細胞質内の不飽和脂肪酸の過酸化によりリソソーム内に形成される不溶性色素のことで、リソソームによって細胞内消化された異物の残余物質であり、加齢性色素あるいは消耗性色素とも呼ばれる。これが皮膚腫瘍の色を規定する可能性があるとはまったく知らなかった。カルシフィラキシスは主に透析中の患者の四肢、軀幹、手指、足趾などに発症する、有痛性の紫斑に続く、難治性の皮膚潰瘍を主症状とする疾患であるが、筆者は経験したことがない。いずれも2018年6月号の「色素沈着を伴う皮膚病」の特集では出て来なかった病名である。学会発表も論文も、時代の変化や医学上の新知識とともに目まぐるしく変遷しつつあり、われわれは的確に診断・治療するために常に切磋琢磨し勉強し続けなければならないと改めて感じた次第である。

いよいよ次号の令和2年1月号より、『皮膚病診療』が42年ぶりにリニューアルされる。これまでの伝統や利点を引き継ぎつつ、新しい企画も加えて刷新し、より魅力的な「臨床医のための皮膚科総合雑誌」を目指して編集したいと気持ちを新たにしている。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。(N.B.)

特集 日常に潜む接触皮膚炎(仮)

◆editorial

新しい皮膚病診療

齊藤 隆三

◆topics

家庭用品による接触皮膚炎とNITEについて(仮)

伊藤 崇

◆統計

美容師の職業性接触皮膚炎——当院21症例の検討——

小泉 明子ほか

editor's eye

浅井 俊弥

◆臨床例

リストバンドによるアレルギー性接触皮膚炎 花谷 祐未ほか

当初、光線過敏型皮膚炎を疑った毛染め皮膚炎男性例

角 総一郎ほか

プロペナソールによる接触皮膚炎症候群の疑い例

朱膳寺(天野)典子ほか

イソチアゾリノン系防腐剤による接触皮膚炎症候群

森 康記, 梁川 志保

アミノキノリン誘導体による職業性接触皮膚炎症候群

杉浦真理子ほか

眼鏡フレームに含まれたSolvent Orange 60による

アレルギー性接触皮膚炎 渡部 裕子ほか

外陰部湿疹用治療薬に含有されたイソプロピルメチルフェノール

によるアレルギー性接触皮膚炎 飯島 茂子

ヘッドホンによる接触皮膚炎 田中 麗子, 和田 康夫

ヒドロキシステアリルアルコールまたはヒドロキシステアリルグ

ルコンドによる接触皮膚炎 天貝 諒, 相場 節也

酸化染毛剤による接触皮膚炎症候群 鈴木 丈雄ほか

ネイリストに生じた、ジェルネイルによる職業性接触皮膚炎

田中 理子ほか

エポキシ樹脂による職業性接触皮膚炎

吉野 春香ほか

◆新春放談

新生『皮膚病診療』のこれから

——令和時代の皮膚科医に向けて——

齊藤 隆三, 向井 秀樹, 浅井 俊弥, 山本 俊幸, 馬場 直子

◆学会ハイライト

第70回日本皮膚科学会中部支部学術大会を終えて

望月 隆

◆知って得る最新情報

◆リレーエッセイ 私のワークライフバランス

漆畑 修

「仕事と家庭」——皮膚科女医の場合

馬場 直子

◆私の視点

◆皮心伝心

馬淵 智生

乾燥患者会と関わって15年

橋本 秀樹

◆診察室の四季

齊藤 隆三

◆皮膚科のトリビア

浅井 俊弥

◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 41, No.12(2019)

令和元年11月25日印刷

令和元年12月1日発行

1部定価2,800円(本体)+税 送料別

年ぎめ予約購読料39,000円(本体)+税

発売所/丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 齊藤 隆三

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3

ワールドインポートマートビル8階

電話: 03-5979-1400(代)

振替口座: 00190-0-36746

印刷所 株式会社 エイチケイ グラフィックス

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2019年

・JCOPY <(社) 出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。